

令和5年度（2023年度）
「中学校給食に関するアンケート」調査結果

令和5年（2023年）12月

令和5年度（2023年度）「中学校給食に関するアンケート」

【実施目的】

豊中市では、令和4年度（2022年度）2学期より市内全校で、全員給食を開始したことから、今後の事業展開の参考とするため、昨年度に引き続き、生徒・保護者・教職員の意見をアンケート調査により徴収するもの。

【対象者】

豊中市立中学校に在籍する生徒、保護者、教職員

【調査時期】

令和5年（2023年）10月

【調査方法について】

オンラインによるアンケートを実施
保護者には、コドモンで周知及び依頼

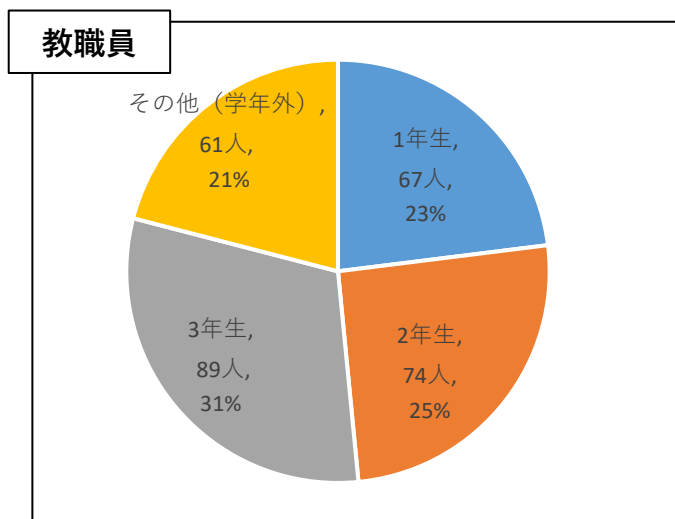
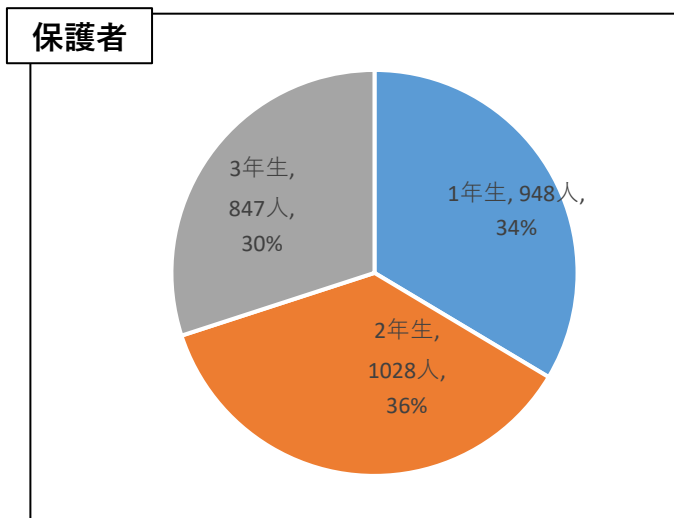
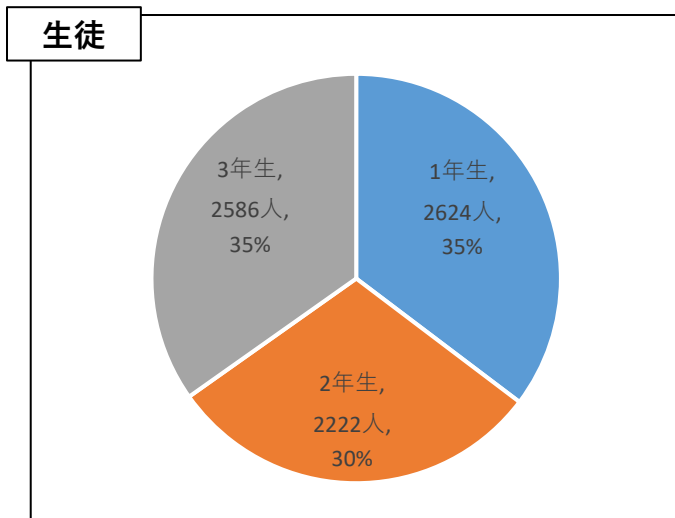
【回答率】

対象者数と回答数

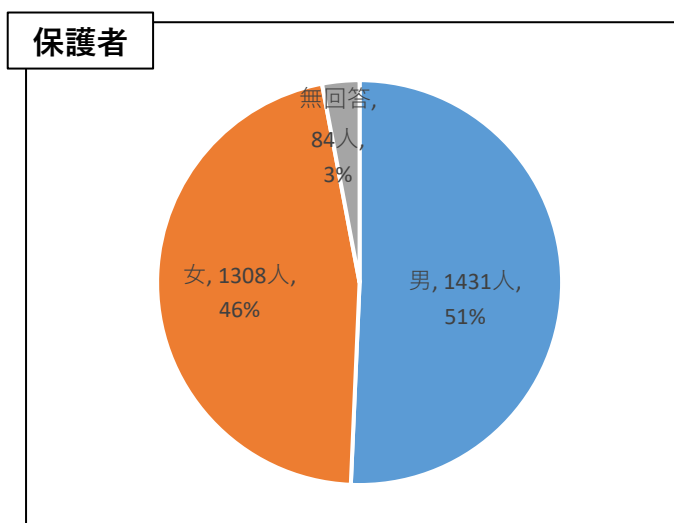
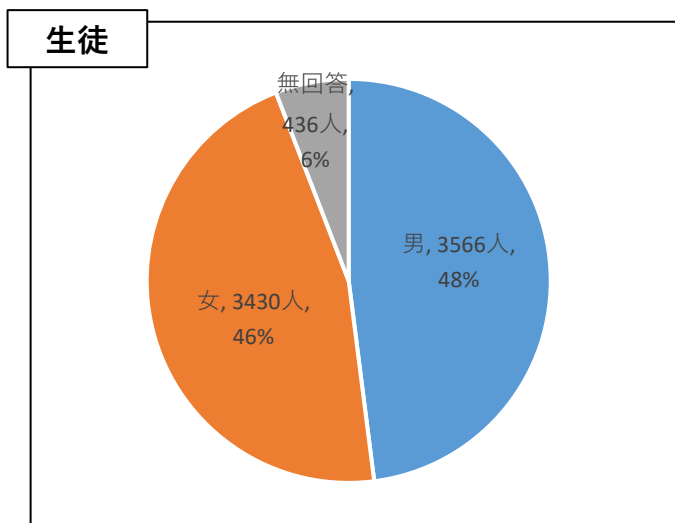
	生徒	保護者	教職員
対象者数	9,889人	※5,033人	786人
回答者数	7,432人	2,823人	291人
回答率	75.2%	56.1%	37.0%

※保護者対象者数は、コドモンで案内を送付し、既読になった人数を記載

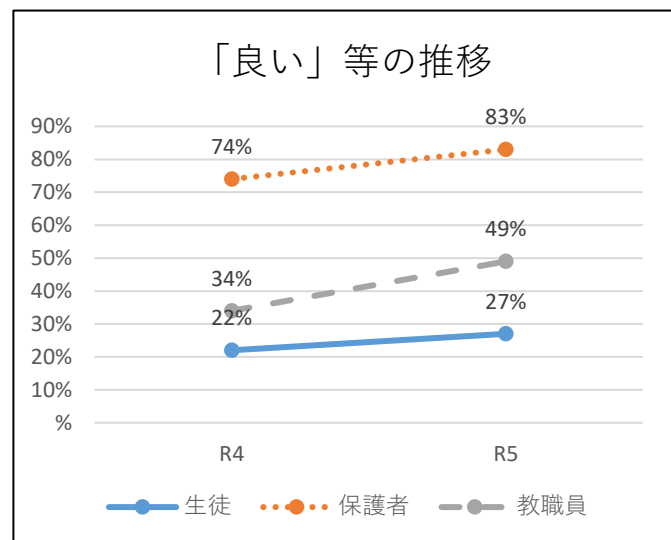
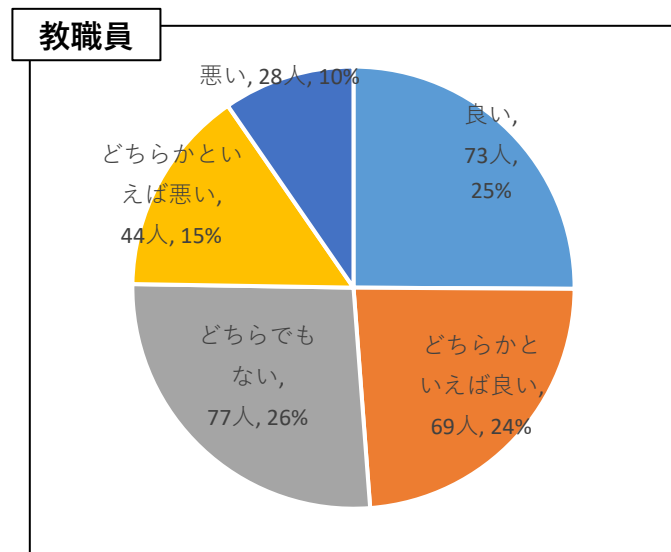
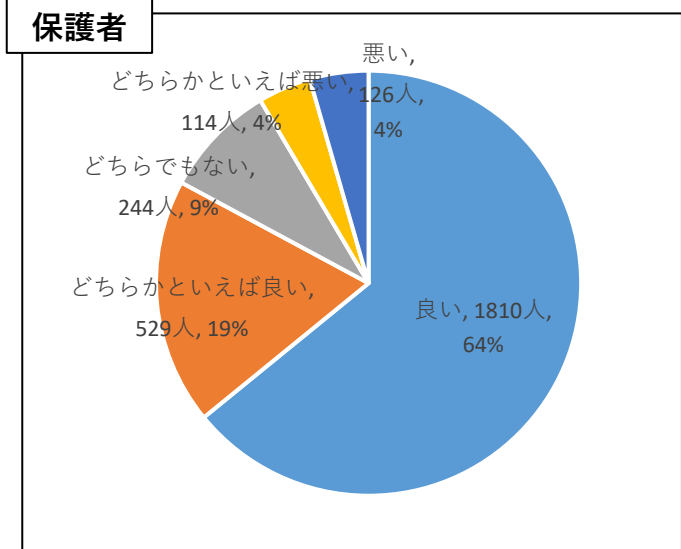
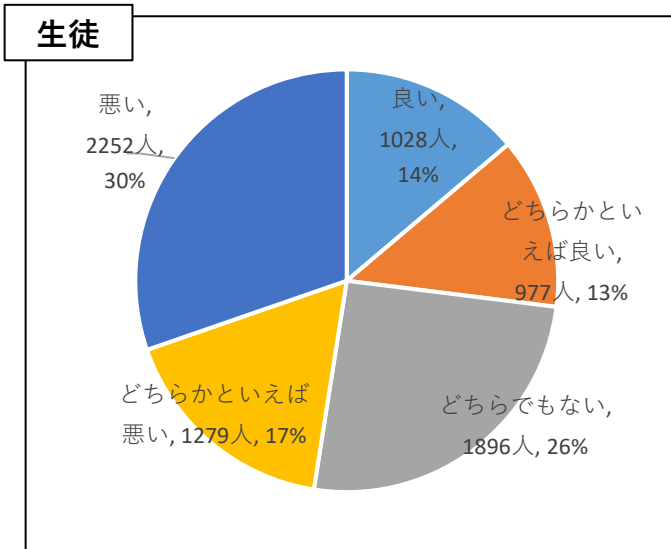
1 回答者の所属している学年(こどもの所属している学年)



3 性別(保護者はこどもの性別を記入)※教職員への質問はなし



4 全員給食になって良かったですか



○生徒は「良い」「どちらかといえば良い」が、約27%、「悪い」「どちらかといえば悪い」が約47%という結果から、依然として満足度は低い状況にあるが、前年度の結果は、「良い」「どちらかといえば良い」が、約22%、「悪い」「どちらかといえば悪い」が約55%という結果であったことから、少しではあるが満足度が上がっている事が分かる。

○保護者は「良い」「どちらかといえば良い」が約83%となっており、前年度の約74%から、さらに高い評価となっている。

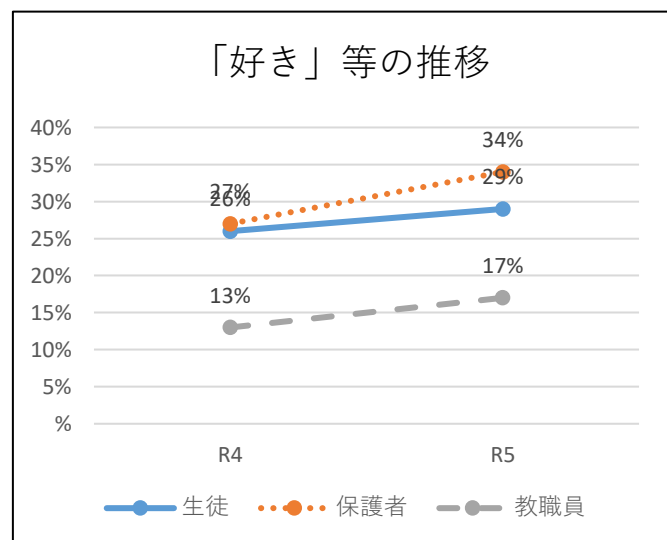
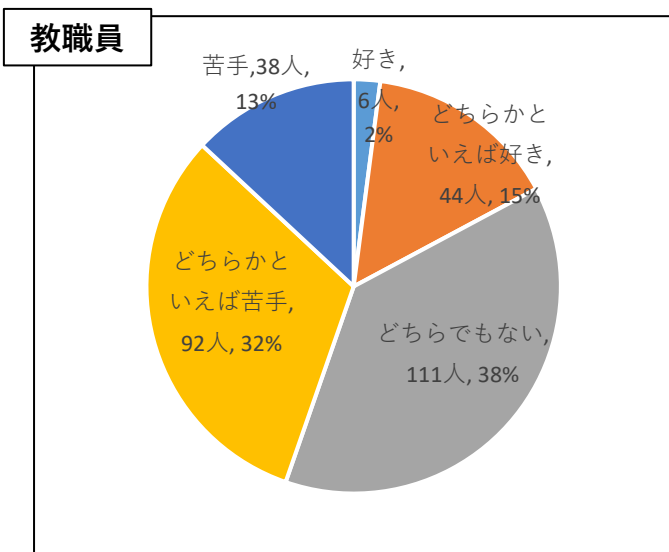
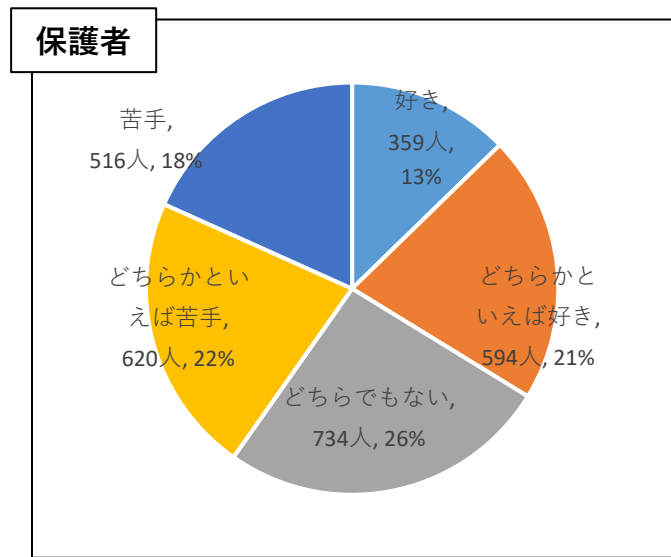
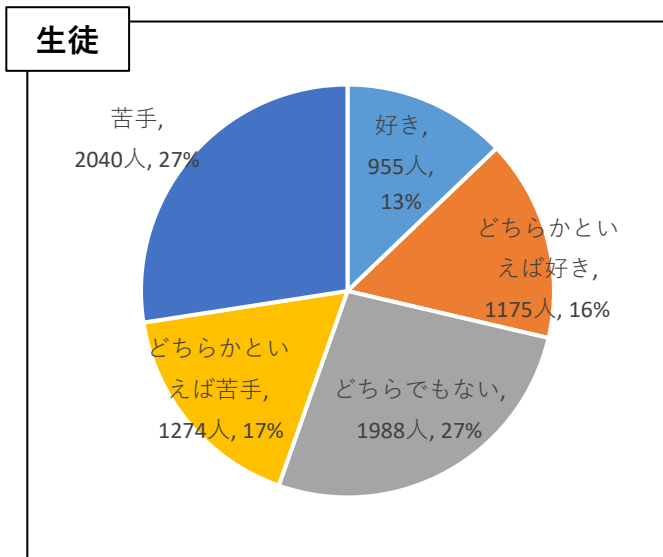
○教職員においては、「良い」「どちらかといえば良い」が、約49%、「悪い」「どちらかといえば悪い」が、約25%となっている。こちらも前年度と比較すると、それぞれ「良い」「どちらかといえば良い」が、約34%、「悪い」「どちらかといえば悪い」が、約38%であったことから、満足度があがっていることがわかる。

○全体をとおして、満足度は上がっているが、生徒の満足度が特に低いことから、アンケートの結果を参考にし、引き続き改善を行う。

5 給食が好きですか

※保護者は、「お子さまは給食が好きですか」

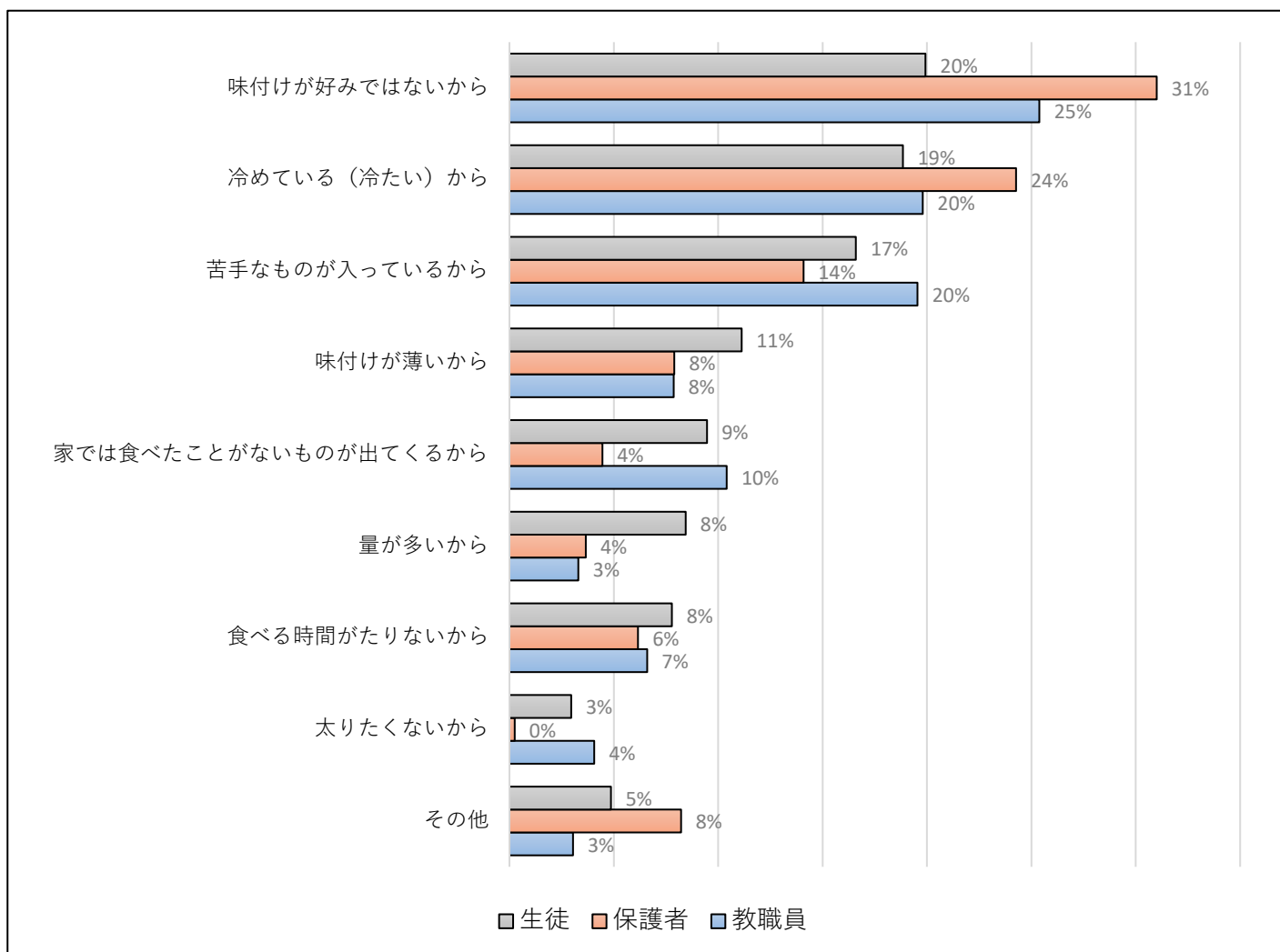
※教職員は「生徒は給食が好きですか」



○生徒・保護者・教職員、ともに「好き」「どちらかといえば好き」の結果が前年度より若干増となり、「苦手」「どちらかといえば苦手」の割合が減少している。

○前年度と同様に、生徒と保護者の回答は、比較的似た傾向となっているが、教職員は「好き」「どちらかといえば好き」の割合が低く、生徒たちが給食を好んでいないように見えていることが分かる。

6 「どちらかといえば苦手」「苦手」と答えた人にお伺いします。
 「どちらかといえば苦手」又は「苦手」を選んだ理由を記載してください。【%】



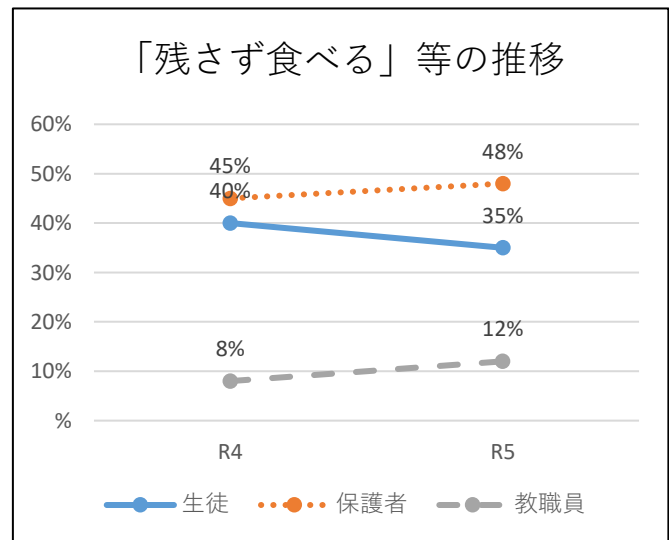
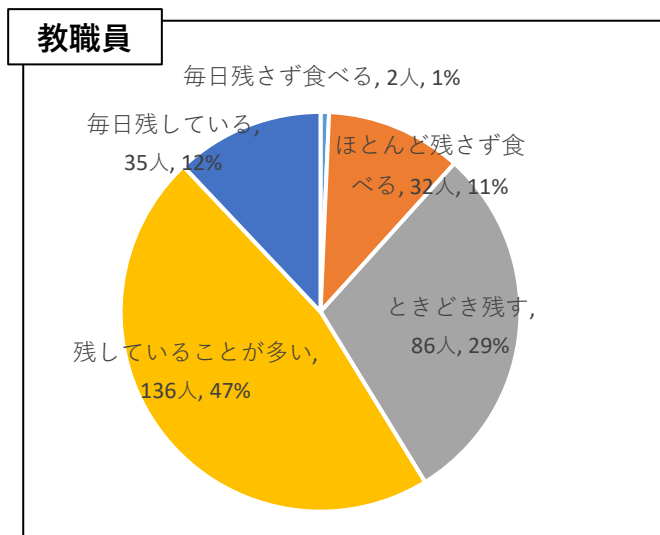
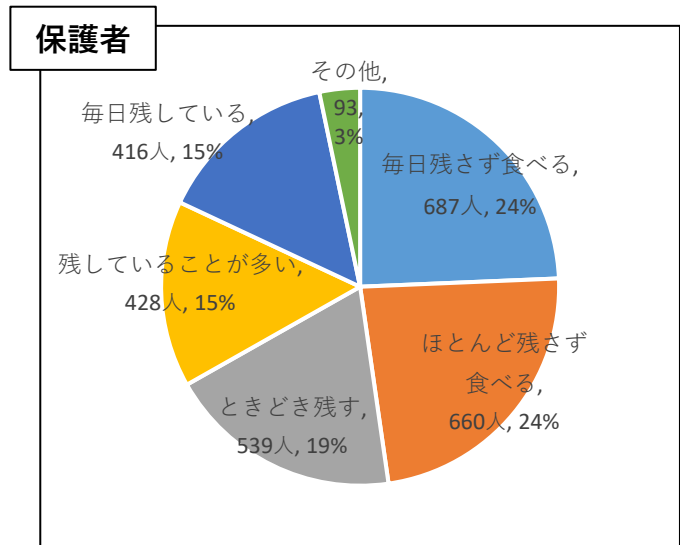
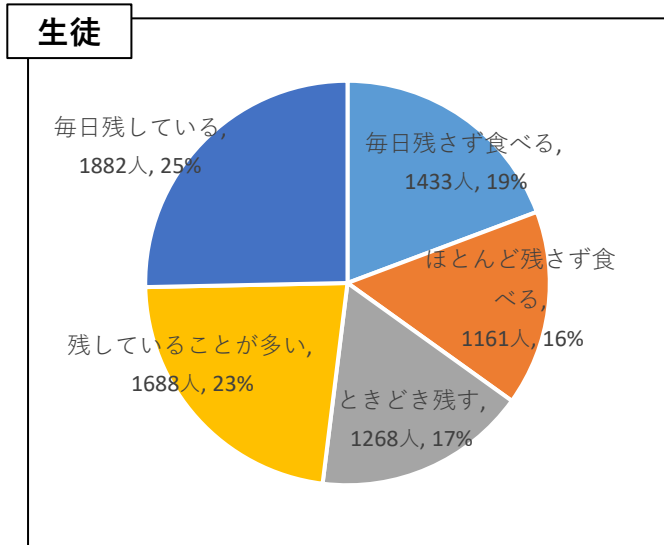
○苦手な理由としては、生徒・保護者・教職員において、「味付けが好みではないから」が一番の理由となっている。「味付けが薄いから」も四番目になっていることから、味付けの改善を求められている。

○前年度と同様に「冷めている（冷たい）から」が二番目の理由になっているが、安全な温度でランチボックスを届けるためには、冷たい状態で配送を行う必要があり、この部分についての改善を行うのは難しいが、冷たくてもおいしく食べる事のできる献立にするなどの工夫を行う必要がある。

7 給食を全部食べていますか

※保護者は、「お子さまは給食を全部食べていますか」

※教職員は「生徒は給食を全部食べていますか」

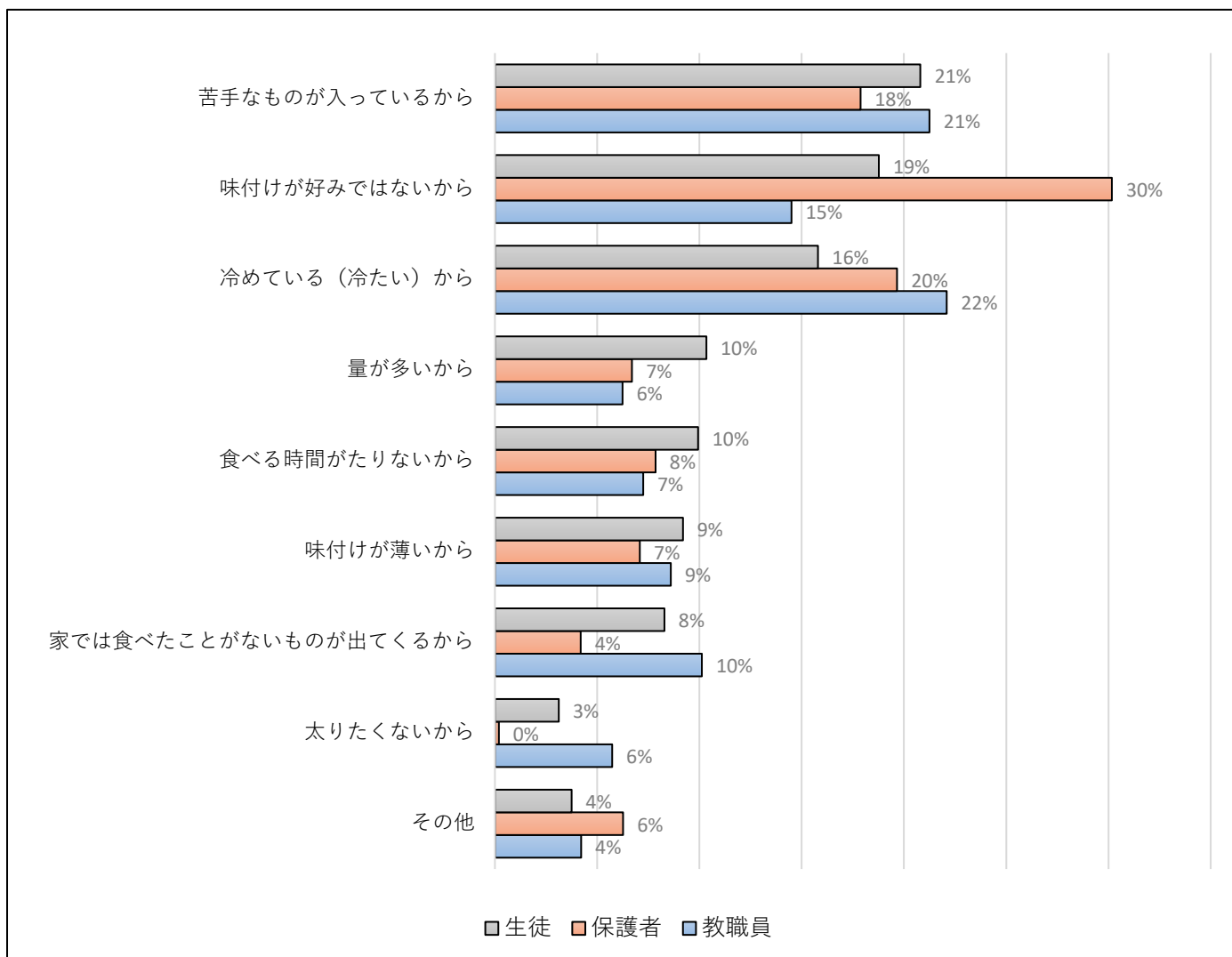


○生徒における「毎日残さず食べる」「ほとんど残さず食べる」の回答が、約35%となっており、前年度の約40%から下がっている。

○保護者・教職員の割合も前年度とあまり変わらない結果となっており、改善が必要である。

○残食が多いことから、味付けや献立などの改善と合わせて、食育を推進し、少しでも多く食べてもらえるようにする。

8 「残していることが多い」「毎日残している」と答えた人にお伺いします。
給食を残す理由は何ですか(複数回答可)【%】

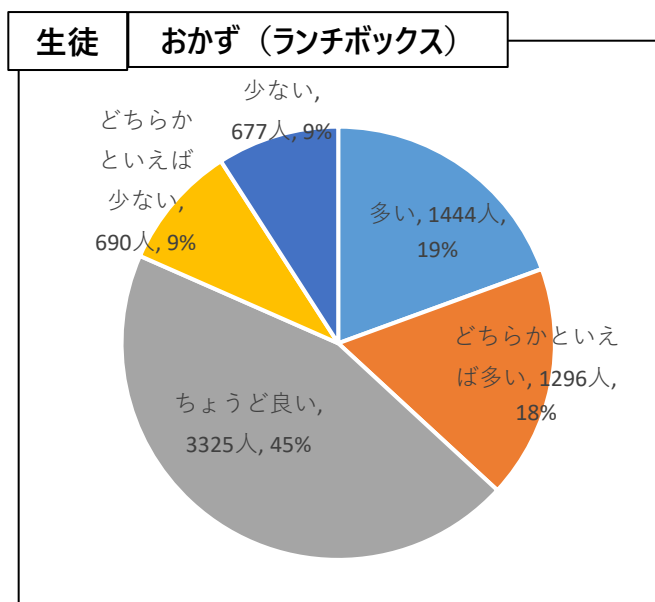
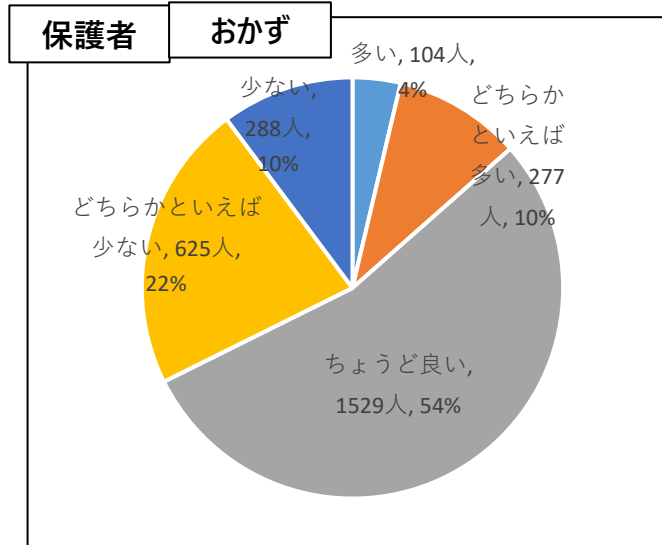
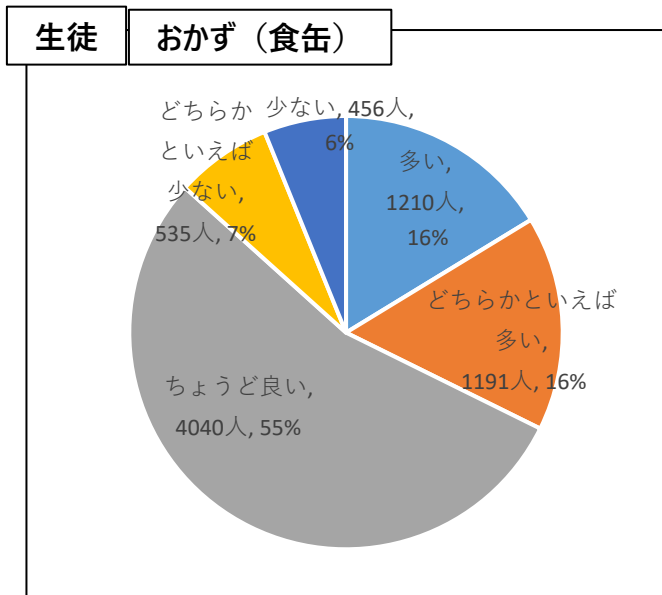
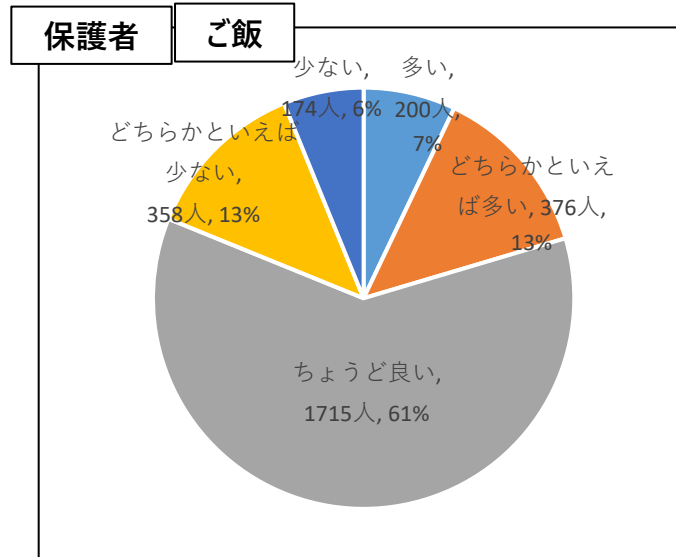
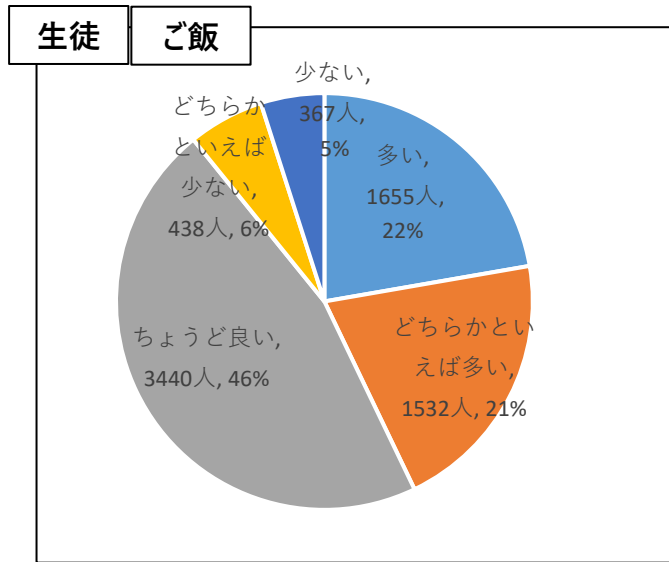


○残している理由は「苦手な理由」と異なり、生徒の一番目の理由は、「苦手なものが入っているから」となっており、続いて「味付けが好みではないから」、「冷めている (冷たい) から」となっている。また、「量が多いから」と「食べる時間が足りないから」が、それに続くかたちとなっており、量に合わせた喫食時間の確保も課題である。

9 量はどうか

※保護者は、「お子さまに給食の量はどうか」

※教職員は「生徒にとって量は適当ですか」

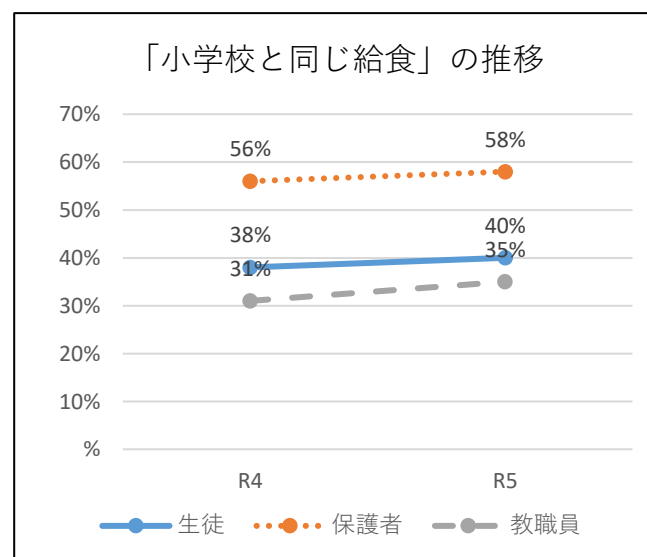
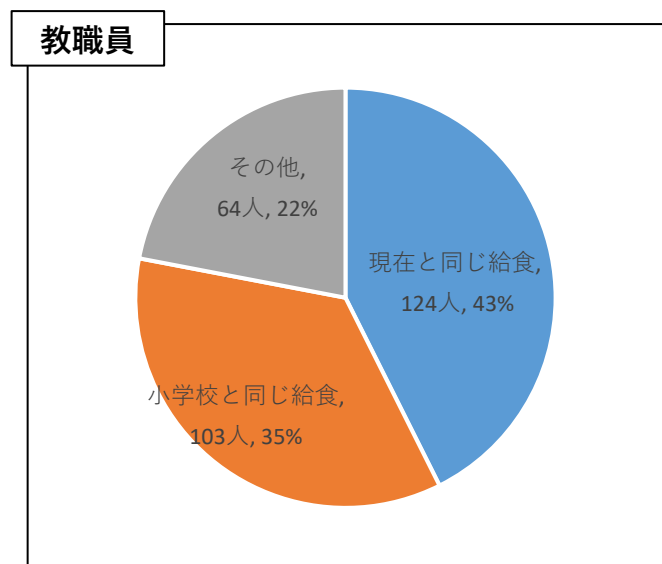
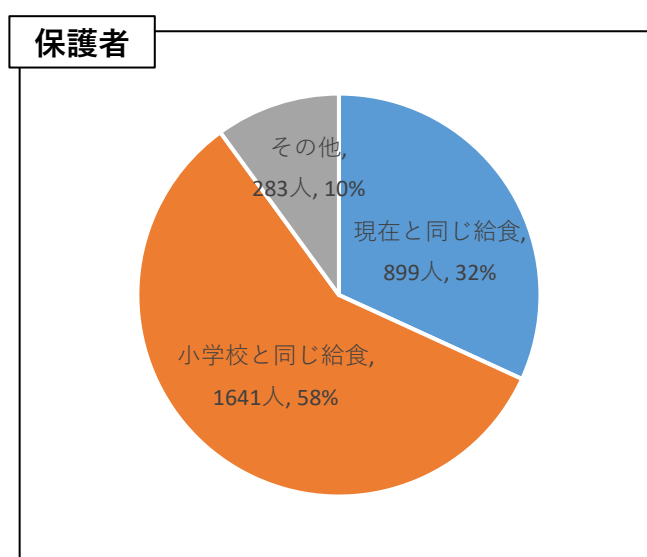
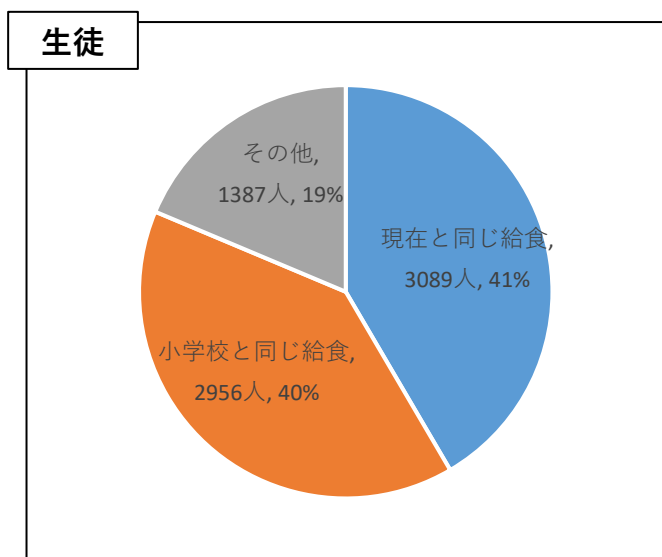


○生徒の結果では、ご飯の量について、約43%が多いと回答しており、食缶のおかずは約32%、ランチボックスのおかずは約37%が多いとなっている。

○一方で、それぞれ約45%～約55%の生徒が、ちょうど良いと回答しており、量としては大きな問題はないと感じる。

○保護者は、生徒と比較して、おかずが少ないと感じている。

10 どのような給食がいいですか



○生徒は「現在と同じ給食」と「小学校と同じ給食」がほぼ同じ割合となっているが、前年度と比較すると、わずかに「小学校と同じ給食」が増えている。

○保護者も前年度と同じ割合になっているが、こちらはわずかに「現在と同じ給食」が増えている。しかしながら今回の結果でも半数以上が「小学校と同じ給食」を希望している。

○教職員では、「現在と同じ給食」の回答が「小学校と同じ給食」を上回っているが、昼休み時間の確保などにおいては、配膳の時間を短縮できる現在の形式がよいが、生徒の残食が多い現状においては、適温で喫食できる小学校と同じ給食を望まれる傾向にあると思われる。

○その他は、前年度と同じく多くが「お弁当持参」を希望している意見が多い。

まとめ

「全員給食になって良かったですか」や、「給食が好きですか」の問いでは、前年度と比較すると、評価としては上昇している。一方で、「給食を全部食べていますか」の問いでは、残しているという回答が前年度より増加しており、一定の評価はあるものの、さらなる改善を求められていることが分かる。

「どのような給食がいいですか」の問いでは、保護者においては「小学校と同じ給食」が50%を超えている。生徒・教職員では、「現在と同じ給食」と「小学校と同じ給食」が約40%ずつ、残りの約20%が「その他」となっており、同じような回答の傾向がみられる。

これらの事から、味付けや献立の見直しを行い、苦手なものや冷たい状態でも美味しく食べる事のできる味付けを行うこと。また、食育を推進し、食への関心と理解を深める事が必要である。

また、現在の給食において、適温で提供できていないことが、多くの課題に繋がっていると考えられることから、改善できる方策を検討していく必要がある。